

特集●スクリーニング—その進化と課題

進化するスクリーニング検査—その適用をめぐる課題と展望

- NCD 対策におけるスクリーニングの限界と展望 — 大阪大学大学院医学系研究科環境医学教授 祖父江友孝
 新生児マススクリーニングの新たな展開—タンデムマス法の導入 — 島根大学医学部小児科教授 大島 明
 新生児聴覚スクリーニングの成果と今後の展望 — 岡山大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科講師 山口 清次
 新しい胃がん検診方式の導入に向けた課題と展望 — 結核予防会大阪府支部顧問 福島 邦博

- 尿マーカーによる骨粗鬆症検診の課題と展望 — 国立がん研究センターがん予防・検診研究センター検診評価研究室長 濱島ちさと
 軽度認知症のスクリーニング検査の進化と課題 — 認知症介護研究・研修東京センター長 新飯田俊平
 慢性閉塞性肺疾患(COPD)のスクリーニングについて — 結核予防会大阪府支部顧問 本間 昭
 結核感染のスクリーニング検査の進化と課題 — 結核予防会結核研究所名誉所長 小倉 剛
 森 亨

●視点

- 公衆衛生のフィールド — 沖縄県八重山福祉保健所保健給付兼健康推進班長 糸数 公

●資料

- 東京都脳卒中救急搬送体制実態調査 — 東京都福祉保健局 高橋 郁美・他

あ と が き

2007年の国民健康・栄養調査によれば、糖尿病が疑われる人の約4割は「ほとんど治療を受けたことがなかった」ということです。20世紀の糖尿病治療と言えば、空腹時血糖を目安として、スルフォニル尿素薬(SU薬)などの経口血糖降下薬と、インスリン製剤の1回注射や2回注射が中心でした。空腹時血糖がそれほど高くなければ治療の対象にはならないと考えていた人も多かったのではないのでしょうか。

ところが、1990年代後半に糖尿病患者における心血管病の発症リスクや死亡について、空腹時血糖よりも食後の高血糖が強く関与しているという研究報告が出され、早期の治療介入や厳格な血糖コントロールが求められるようになってきました。最近では、空腹時血糖がそれほど高なくても、食後高血糖に対して早期に α グルコシダーゼ阻害薬

(α GI)などを用いた治療を開始するようです。

さらに、糖尿病患者においては、心血管イベントの予防としての肥満、脂質異常、高血圧、高尿酸血症の管理や、がんのスクリーニングも不可欠となっています。かかりつけ医や専門医への定期受診はもちろんのこと、年に1度の健診やがん検診受診も必要です。

糖尿病の患者さんが長きにわたる療養を無理なく続けていくためには、本特集内、市来先生の『フットケアを通して、糖尿病をもつその人をケアしていく』という言葉どおり、患者さんにとって快適な療養環境の整備と、質の高いトータルケアの普及が望まれます。そして、患者さんの負担が少しでも軽くなるよう、食事制限や運動の負担を軽減できるとい新薬の開発にも期待がかけるところです。(品川靖子)

公衆衛生(第76巻 第10号) 2012年10月15日発行(毎月1回15日発行)

定価 2,520円(本体 2,400円+税5%)

2012年年間購読料(税込定価、送料弊社負担): 冊子版 28,800円、電子版/個人 28,800円、

電子版/共有 33,200円、冊子+電子版/個人 33,800円、冊子+電子版/共有 38,200円

発行: 株式会社 医学書院 代表者 金原 優 ☎ 113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

本誌編集室(担当/野中・能藤): 直通 TEL(03)3817-5718 FAX(03)3815-7802 E-mail: koshu@igaku-shoin.co.jp

販売部: 直通 TEL(03)3817-5659・5660 FAX(03)3815-7804 振替口座: 00170-9-96693 番

印刷所: 三美印刷(株) TEL(03)3803-3131

広告申込所: (株)メディカルブレン TEL(03)3814-5980 デザイン: デザイン・プレイス TEL(03)6426-7805

投稿論文オンライン受付

ID: koshu パスワード: koshu

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo

© 2012, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信(送信可能化権を含む)に関する許諾権は医学書院が保有しています。

・ 本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・ **JCOPY** (社)出版者著作権管理機構 委託出版物)

本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(社)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

・ 医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp>

・ 公衆衛生 URL <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/koshu/>

編集顧問

多田羅浩三 財団法人日本公衆衛生協会
会長、大阪大学名誉教授

編集委員 (50音順)

阿彦 忠之 山形県健康福祉部次長・山
形県衛生研究所長

品川 靖子 公益財団法人東京都予防医
学協会参与

高鳥毛敏雄 関西大学社会安全学部教授

西田 茂樹 福島県会津保健福祉事務所長